

令和6年度 ユース栃木夏山報告

1 期日：令和6年8月1日～2日

2 場所：劔岳（早月尾根）

3 日程コース

7月31日 馬場島荘泊

8月1日 馬場島荘（4：10 発）～早月小屋（7：55～8：25）～劔岳山頂（11：05～12：00）
～早月小屋（13：50）小屋泊

8月2日 早月小屋（5：30）～馬場島荘（8：20）下山

4 参加者（3名）

林 祐寿・深谷 篤志・荒井 理

5 行動概要

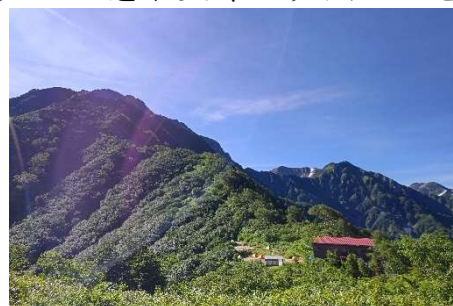
7月31日 晴れ

県内では例年よりも遅い梅雨入りと早い梅雨明けを迎え、連日猛暑が続いている。劔岳方面はといえば北陸地方の梅雨があけていないせいか不安定な天候が続いているようだが、ようやく明日には明けそうで、絶好の夏山日和となりそうだ。今年の夏山もどこにいかとあれこれ考えた挙句、早月尾根からの劔岳となった。実は私はまだこの山に登頂したことがない。30年ほど前に当時今回の三人も活動していたマロニエアルパインクラブで剣沢までは来ているが、日程の都合で山頂を踏まずに下山してしまった。この時林さんは八ツ峰からのバリエーションルートで登頂している。個人的に行きたいと思っていたが遠いこともあり、ようやく実行となった。

三人で合流後、午前10時頃真岡を出発し、北関東・関越・上信越・長野・北陸自動車道を経由して富山県に入る。滑川ICで高速を下り、まさに山へ向かって車を走らせる。早月川の橋を何度か渡りながら川の流れに目をやると、水は灰色に濁り水量も多く感じた。これまでかなりの雨が降ったようだ。途中狭くなる道で、たまにすれ違う大型ダンプに気を付けながら馬場島荘へ到着したのは午後4時半過ぎとなった。普段の山行なら車中泊となるところだが、今日はこの山荘で入浴・夕食を済ませ、ビールでほどよく酔った後、明日に備えて眠りについた。

8月1日 晴れ

3時に起床し、部屋で昨日夕食のときに頂いたマスずしなどで朝食を済ませ、4時10分馬場島を出発する。昨夜は12時過ぎあたりからだろうか、2階にある部屋の前の駐車場には入ってくる車や人の声で何度か目が覚めた。夏至から比べると日の出の時間がずいぶん遅くなり、ヘッドランプを装着して歩き始める。しばらくは樹林帯の中の急登を進む。この早月尾根ルートは、北アルプス三大急登だけあって、地図で見ても勾配がきついのがわかる。標高762mの馬場島から早月小屋を経て山頂の2999mまで、とにかく登り続ける体力勝負のルートである。途中の早月小屋で一泊するのが一般的かと思いきや、最近の活動記録を見てみると、日帰りでアタックする単独行の方が多そうだ。夜中に行動を始めていた方々もそうだ



【丸山より早月小屋と劔岳】

ろう。歩き始めてからもトレランスタイルの何名かが抜かしていった。我々とはといえば、せっかく遠くまで来たことだし山を楽しみたいので早月小屋に一夜の予定である。が、今日のうちに山頂に立ちたいのであまりのんびりもしてられない。午後になるとガスも心配である。

樹林帯の中ではあるが、天気も良く、右手には大日岳を眺めながら高度をあげていく。視界が開けて丸山に立つと、目の前が早月小屋だ。小屋で宿泊の手続きと不要な荷物をデポし、山頂へ向かう。岩稜帯に出る頃には山頂から左手に伸びる荒々しい岩の稜線が見え、劔岳に来たんだと実感することができた。山頂直下は難所が続くが、梯子や鎖、足場のボルトが整備されている。岩場も三点支持を心掛けて慎重に、そして楽しみながら登っていくと、思ったよりも早く山頂へ到着した。平日ではあるが、山頂はなかなかの賑わいだった。天気もいいので、ゆっくりと休憩をとり、景色を楽しむことができた。早月尾根の反対側には源次郎尾根と八ツ峰が見え、次回はあちらからこの場に立ちたいと思った。しばらく頂上を満喫し、来たルートを下山していく。所によりクライムダウンをして早月小屋に到着。無事にここまで戻ってきたことを祝しビールで乾杯をした。

この小屋は水場が無く、全てヘリでの荷揚げになる。そのため水は貴重で、ペットボトル2lで1300円、500mlだと600円となる。食事の容器も使い捨てだった。夕食後も天気が良かったので、消灯後に星空でも眺めようかと考えていたが、すっかり眠ってしまった。

8月2日 晴れ

5時からの朝食を済ませ、5時30分に早月小屋を出る。昨日登ってきた役1500mを一気に下りていく。やはり来たルートに戻るの精神的にも疲れることを実感した。予定よりかなり早い8時20分、馬場島に下山することができた。馬場島荘でシャワーでもと思ったが、時間が早いため営業しておらず、富山市内の水橋温泉まで車を走らせた。帰りには林さんの提案で梅海新道の起点である親不知海岸を散策し、夏山を無事に楽しく終えることができた。

文責 荒井 理



【小窓尾根をバックに】



【山頂直下の鎖場】



【劔岳山頂にて】